



# 神奈川大学秋田県宮陵会会報

発行  
神奈川大学  
秋田県宮陵会

Vol. 5

2025年(令和7年)  
12月号  
会員数 554名

発行・編集：広報委員会

秋田市中通四丁目1番52号406号 TEL：018-837-7768

会報発行は年1回となります。原稿や写真、トピックスなど随時募集しております。

## 第三十八回東北ブロック会議が秋田市で開催される

第三十八回神奈川大学宮陵会東北ブロック会議が、六年ぶりに秋田市のANAクラウンプラザ秋田で開催されました。会議には、本学常務理事鶴藤倫道様、同宮陵会副会長の原柳作様をお迎えし、本学の近況報告をお聞きしました。

議事に入り、各県からの現状報告並びに意見交換を行い、各県とも共通の課題として、高齢化による参加者の減少、役員不足、女性会員の参加率並びに会費納入率の低さなど、同じ悩みが報告されました。また、改善策として、大学との連携やイベントの多様化、情



第38回一般社団法人 神奈川大学宮陵会 東北ブロック大会  
2025年11月8日(土) 於 ANAクラウンプラザホテル秋田



報発信の強化、QRコードの活用やキャッシュレス決済の導入などの具体案が提案されました。

各県とも悩みは同じであり、今後とも、情報交換を行い、協力し合いながら課題の解決に向けて努めていくことを誓い合いました。

その後、記念講演として、プロバスケットボール秋田ノーザンハピネッツの代表取締役社長水野勇気様から、「バスケットで秋田を元気に、ゼロからの挑戦」と題して貴重なお話をいただきました。

大学を卒業されてから、ゼロからプロリーグを立ち上げられたご苦労、今の成功までの軌跡を、スライドを交えて貴重な裏話もお聞

きし、そのご苦労や熱量を我々一同、大変感銘を受けました。これからのプレミアリーグでのなお一層の活躍を期待し、応援するものです。

会議終了後は、記念撮影を行い、合同懇親会に入りました。会には、準会員である現役在学生四名も加わり、若いパワーを頂きました。



秋田ならではのお酒や料理に皆さん舌鼓を打ち、会は和やかな雰囲気の中に進み、最後は、次回開催の青森県の会長の中締めでお開きとなりました。

その後も、二次会を川反へ場所を移し、更に親交を深め、来年の再開を約束し合いました。なお、その後については、報告を割愛させていただきます。

## 令和七年度総会を開催

令和七年度の神奈川大学秋田県宮陵会総会が、東北ブロック会議に先立ち、同会場において開催され、令和六年度の収支決算および活動報告並びに令和七年度収支予算および事業計画が、慎重審査の結果、満場一致で決議されました。

審議の中では、予算の執行についての活発な意見が出されたほか、参加者の固定化および高齢化、若い世代の参加者の低迷など、会の継続についての課題も出され、有意義な議論が交わされました。

また、新役員改選も行われ、会員不足の影響もあり、幹事二名が減となり、会計も一名体制となるなど、今後の課題が浮き彫りとなりました。



随想

いくつになっても変わらぬ

昭和五十七年経済学科卒  
安井 誠悦

いくつになっても先輩、後輩は変わらず。

テレビの青春ものに憧れ、都会に憧れ、ひとり暮らしに憧れ、大学に進学しました。小学校四年生から続けていたサッカーよりも、都会の青春生活を満喫しようと思つたものの、ふと見た練習に引き寄せられるように体育会系サッカー部に入部、してしまいました。

しかし、それまでの先輩、後輩の關係が強い部活ではなく、練習や試合が終われば、一緒に酒を飲み麻雀を楽しむ、そんなフランクな雰囲気部活でした。

そして、それまで神奈川リーグの一部に所属していましたが、一年時に最下位となり、一部との入れ替え戦に臨むことに。私は、その大事な入れ替え戦に、入学以来初の公式戦に出場。それまでずっとフォワードしかやったことがなかったのに、初出場が不慣れなディフェンダー。引き分けであれば一部残留となる0対0で進んだ後半、



左からの攻撃を受け、センターリングが選手の間をすり抜けてきて私の股間を直撃、一瞬痛さにひるんだ次のプレーで、私が必死にクリアしたボールは味方のゴールへ。大事な入れ替え戦の試合で、何と私は、オウンゴールをしてしまったのです。

結果、その失点が重くのしかかり、0対1で負けて二部降格。そのショックは、筆舌に尽くしがたい。。。四年生にとっては最後の試合、その日の晩は、想像に難くありません。割愛します。

その先輩達は、秋田出身は酒が飲めるだろうと、良くお酒に誘って貰いました。奢って貰いました。一本のホッピーを何倍も焼酎で薄めて飲み、一本の焼き鳥を串から取ってつつき合い、貧乏だけど、満ち足りた青春の飲み方でした。その先輩達から、十二月に東京

で皆が集まるから来ないかと誘いがあり、議会の一般質問を二日後に控えている中、会えるのは最後(?)かもしれないと思い、覚悟を持って先輩達の会に参加してきました。地元神奈川や遠く釧路からも先輩達が集まり、東京の先輩宅マンションに集まりました。月日は嘘をつきませんが、気持ちは変わっていませんでした。髪は薄くなっても、友情は厚く、色褪せていません。四十二年前が走馬燈のように頭を駆け巡りました。六十五歳と六十八歳になって、先輩と後輩の關係は変わりま

せん。いくつになっても先輩、後輩は変わらず。ちなみに、私が在籍していた四年間は二部で、私が卒業してすぐ一部に復帰し、その後、関東リーグでも活躍、日本代表の伊藤純也選手を輩出しました。私も、いまだに六十代シニアで現役をやっている、秋田県サッカー協会の会長を拝命している縁、それは、あの学生時代の先輩達がいたお陰だと感謝しています。本当にありがとうございます。そして、ごちそうさまでした。(秋田市中通在住)

令和6年度収支決算及び令和7年度収支予算

【収入】 (単位：円) :			
科目	6年度決算額	7年度予算額	摘要
前年度繰越	570,279	395,394	
会費	92,000	100,000	年会費2,000
総会等会費	160,000	370,000	総会,新年会
助成金	156,257	220,000	宮陵会本部
幹事会会費	0	20,000	
雑収入	184	184	利息等
合計	978,720	1,105,578	
【支出】			
会議費	143,900	500,000	総会,新年会
幹事会費	0	20,000	
事務費	27,452	60,000	事務労務費
印刷費	0	50,000	会報等
通信費	163,722	185,500	切手他
旅費交通費	111,678	0	東北大会等
雑費	136,574	80,000	HP更新料
予備費	0	210,078	
合計	583,326	1,105,578	

全国男鹿駅伝競走大会が開催される  
大会に、佐々木義廣秋田県宮陵会会長と齋藤繁樹幹事長が応援に駆けつけました。



成績は、参加校十二校のうち第五位、優勝は青山学院でした。レースは、ハイペースの中進み、本学は、途中まで先頭集団につけるなど見せ場をつくり健闘しました。来年も開催される予定で、来年こそ優勝目指して頑張ってもらいたいと思います。皆様のご声援をよろしくお願いいたします。

